

●●●会長あいさつ●●●

伝統ある同窓の皆さまと、 新大学でさらなる発展を目指そう!

会長 吉永 洋一(工機13期)



早春の候、皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのことと存じます。本年は府大・機械工学科同窓会にとって最終となる会員をお迎えすることになりました。皆様ともども心よりお慶び申し上げます。

さて「コロナ」禍も、今年で二年になります。学校も休眠状態、都市部では感染拡大防止のために何度も緊急事態宣言が発令されました。東京オリンピック・パラリンピックは1年延期され、2021年7、8月にやっと無観客開催となりました。世界中で、曾て経験したことのない稀有な状況がまだ続いています。

昨年は災害も多い年でした。熱海の伊豆山地区で大規模な土砂災害、ヨーロッパや中国でも記録的な豪雨による大規模な洪水が発生するなど、地球温暖化の影響を実感させる状況です。

ところで、真鍋叔郎博士が、その地球温暖化関連の研究でノーベル物理学賞を受賞されたのは嬉しいニュースでした。また7月、菅義偉内閣が総辞職し、岸田文雄氏が第100代内閣総理大臣に就任しました。12月には天皇家の敬宮愛子内親王が20歳の誕生日を迎え、成年皇族となられるなど嬉しいニュースもありました。

さて、いよいよ2022年4月、大阪公立大学がスタートします。昨秋、最終のイベントである〈大阪府立〉大学創

基140年記念事業として、「ホームカミングデーファイナル」がオンライン開催されました。歴史を振り返れば、本学は明治16年(1883)に開設された獣医学講習所に始まり、工学部関係では昭和14年(1939)大阪高等工業学校にまで遡ります。その後、浪速大学から大阪府立大学として現在まで発展してきました。新大学では、府大と市大の機械工学科は統合され、中百舌鳥キャンパスが拠点となります。今年2022年、新大学の学生が入学し、卒業するのは4年後の2026年、したがって府大・市大OBと新大学OBが合同する新・機械工学科同窓会の本格的なスタートはそこからになります。

同窓の絆の有難さ・大切さは、年を経るほど実感できます。これまでと同様、在学生の学業・研究活動を支援し、機械やシステムを大切に考える同窓仲間との交流の輪を拡げ、新大学発展に寄与できればと願っています。

今年はじめ、たまたま自宅近くの唐招提寺へ初詣に出かけました。そこで、鑑真和尚の残された言葉、「一を聞いて十を知るよりも、一を聞いて一を実行に移すべきである。鑑真」を目にし、是非心掛けたいと思いました。最後に余計なことを申し上げましたが、皆様のご参加と忌憚のないご助言、ご支援により、新しい機械工学科同窓会のさらなる発展をお願い申し上げますとともに、皆様のご活躍とご健勝を祈念して挨拶に代えさせて戴きます。

機械工学同窓会 2021年度理事会報告

令和3年7月4日(日)の15:00より、オンライン会議の形式で2021年度理事会を開催した。出席者は12名、委任状提出が18名であった。開会にあたり、吉永洋一会長より挨拶があり、その後、下記の議題について審議を行った。

報告事項

1. 会報41号の発行について

会報担当理事より資料に基づき報告があった。印刷部数4,200部、郵送部数3,624部。

2. 学業優秀賞の副賞受賞について

大学院学業優秀賞3名、自動車技術会大学院研究奨励賞1名、日本マリンエンジニアリング学会優秀大学院生奨励賞への副賞贈呈があったことが報告された。など、例年、卒業式後に本同窓会主催で行っている新入会員歓迎パーティーは、コロナ感染症予防のため開催されなかった。

3. 大阪府立大学校友会評議委員会報告

専務理事より資料に基づき説明。令和2年度第1・2回の校友会評議委員会の報告があった。

4. 新大学における機械工学同窓会について

府大・市大の両大学同窓会の現状説明、新大学同窓会の形態見通し説明の後、会費徴収方法を含めた新工学同窓会の運営案に関する報告があった。

5. 寄付の報告

モリ工業の森明信様(工機2-S29・前社長・現相談役)より府大全体・機械工学科同窓会への寄付があった旨の報告があった。

協議事項

1. 2020年度決算報告・監査報告について

会計担当理事から決算報告がなされ、監事(会計監査委員)より会計処理が適正に行われているとの報告があり、2020年度会計決算が承認された。

2. 理事の交代・新任について

専務理事より理事の交代について提案があり、承認された。

3. 2021年度の活動について

資料に基づき提案があり、承認された。とくにコロナ禍のために慎重に活動を行うことが確認された。

4. 寄付金の使用方法について

学生支援に使用、使途詳細は事務局に検討を一任することで承認。

5. 新大学における機械工学同窓会について

新大学において機械工学科同窓会を立ち上げたうえ府大・市大両卒業生も構成員として組織すること。また、現在府大機械工学科同窓会の資産を新大学機械工学科同窓会の資産として移すこと、新入学生の会費は入学時に徴収することが承認された。

専務理事 菊田久雄、石原正行

大阪公立大学の機械工学科同窓会について

2022年4月1日に大阪府立大学と大阪市立大学が統合して大阪公立大学が発足しますが、両大学に設置されている機械工学科(府大では機械工学課程)も統合されて新しい機械工学科が誕生します。大学統合に伴って、全学同窓会組織である大阪公立大学校友会が発足し、現在の府大校友会と市大同窓会はその設立母体の一員になります。

本会においても会長・専務理事を中心に、市大の機械同窓生関係者との間で議論を重ね、両者は新設される「大阪公立大学機械工学科同窓会」の設立母体として参画することで意見が一致しました。本会においては2021年11月の臨時理事会を開催し、上記の方針が承認されました。本会としては、統合せずに独自で同窓会活動を続けることも考えられましたが、過去に大阪工業専門学校同窓会などとの統合を重ねてきた伝統のある組織を今後も長く存続させること、および、同窓会活動は卒業生の親睦だけでなく現役学生の後援団体であることを鑑み、新同窓会の設立に積極的に参画することに至りました。

本会会員は新同窓会の終身会員を兼ねることになります。新同窓会会員になるための新たな会費徴収は行いません。一方、本会においても年会費の新たな徴収は停止します。新同窓会では、大学入学時に終身会費を徴収し、それを原資として活動します。また、本会(府大機械工学科同窓会)の活動は当面は継続しますが、将来の適切な時期に新同窓会と完全に統合し、資産の一部(または全て)を新同窓会の資産として運用することを予定しています。

新機械工学科同窓会は、本会会員(約4,000名)と市大機械同窓生(約2,000名)に加えて、新大学の在學生と卒業生が加わる大きな組織になります。新同窓会HPのURLは

<https://www.web-dousoukai.com/omu-mech/>

です。これからコンテンツを充実させていかなければなりません。是非、一度ご覧いただけると幸いです。今後とも大阪府立大学機械工学科同窓会、ならびに大阪公立大学機械工学科同窓会をご支援頂きますよう、よろしく願い申し上げます。

【製造品目】 ●ステンレス(溶接管・条鋼・加工品) ●溶接鋼管(普通鋼) ●機械(パイプ切断機など)

MORY **モリ工業株式会社**

相談役(前社長) 森 明信 (府大 機械 昭29卒)

本 社 大阪市中央区難波5丁目1番60号 (なんばスカイオ22階)

電話 (06)6635-0201(代表) <https://www.mory.co.jp/>

河内長野工場 河内長野市楠町東1615番地(南海高野線 千代田駅前)

電話 (0721)54-1121(代表)

2021年度機械工学分野の状況報告

2021年度は、大阪府立大学として入学生を受け入れる最後の年となりました。節目となる本年度の機械工学分野、機械工学課程の状況をご報告申し上げます。

学生について

学生の内訳は、

機械系学類入学生(1年生)152名

機械工学課程配属学生(2年生)72名(3年生)76名

編入学生(3年生)一般4名、福州大学留学生2名

卒業研究履修生(4年生)79名

博士前期課程1年生54名

博士前期課程2年生57名

博士後期課程7名

となっております。機械系学類に入学してきた1年生は、卒業に必要な1年配当科目を30単位以上修得した学生の約半数が、機械工学課程に配属されることになります。

今年度もコロナ禍の影響で、多くの授業がオンライン(非同期)で実施されました。コロナ禍も2年目となりますので、学生も教員もオンラインにはかなり慣れてきましたが、やはり対面での授業が良いとの声が多く聞かれました。ただ、1月になり感染者急拡大の第6波が生じ、やむなく卒業研究発表会と修士論文発表会をオンラインで開催することになりました。残念でしたが、学生と教員の皆さんが協力し、論文発表会として十分なものになりました。

また、進路も順調に決まりました。卒業研究履修生の約80%が博士前期課程に進学予定です。就職希望者はほぼ全員が内定式までに就職先を決めました。諸先輩方のご支援に感謝申し上げます。これからも引き続き温かいご支援のほどお願い申し上げます。

教員について

2021年度4月に木下進一先生が教授に昇任され、研究グループの名称を新たに「熱環境システム工学」(旧環境工学)としてご活躍頂くことになりました。2021年度機械工学分野/機械工学課程では次ページの表に示されますように、4つの研究領域、12の研究グループからなっています。材料力学、熱力学、流体力学、機械力学などの基礎的な分野から、環境、エネルギー、植物工場といった応用的な分野まで幅広く教育・研究活動を行っております。教員構成としては教授11名、准教授8名、講師4名、助教2名、計25名となっております。助教のうち1名はテニエアトラック助教です。また、分野、課程の業務を支えていただくために機械事務室を設けており、4名の職員に我々の業務を支えていただいております。分野、課程にご興味のおありの方は機械工学のウェブページなどをご参照いただければ幸いです。

新機械工学科に向けて

2022年4月から、新たに大阪公立大学工学部機械工学科として、新たな一歩を踏み出すこととなります。定員は大幅に増大し、新機械工学科の定員は128名、博士前期課程86名、博士後期課程8名となり工学部の中で最大の学科となります。学科3年の進級時に3つのコースに分かれ、それぞれエネルギーシステムコース、システムデザインコース、アドバンストマテリアルコースで学びます。大きな可能性を秘めたカリキュラムであり、新機械工学科の発展が楽しみです。

本年度は、新機械工学科に向けた大事な準備期間でしたが、府大機械・市大機械の教員の皆様のご協力により、十分な準備ができたと思います。今後も、よりよい教育、研究を進め、より良い学生を輩出するために尽力していくつもりでございます。

2021年度の行事について

今年度一年間の主なスケジュールは以下の通りです。

入学式、新入生・在学生オリエンテーション(4月上旬)

一般編入学試験(6月上旬)

出張講義(福州大学)(6月下旬)

大学院入学試験・口述(7月下旬)

大学院入学試験(8月下旬)

福州大学編入学試験(9月上旬)

博士前期課程1年生中間発表会(1月上旬)

大学院入学試験(第2次募集)(2月上旬)

修士論文・卒業研究発表会(2月下旬)

大学入学試験(2月下旬、3月上旬)

学位記授与式(3月下旬)

1月初旬の修士1年の中間発表会は対面で実施できましたが、オミクロン株による第6波の感染者数急拡大のため、急遽、卒業研究発表会と修士論文発表会をオンラインで開催することになりました。この会報が皆様のお手元に届く頃には事態が落ち着いていることを望んでおります。

最後となりましたが、今後とも機械工学課程・機械工学分野へ相変わらぬご支援・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

2021年度分野主任 福田 弘和

就職・進学等の進路状況について

機械工学分野就職担当 教授 高比良 裕之

今年度は、2018年に日本経済団体連合会による「2021年春入社以降の新卒者を対象とする就職・採用活動のルールを廃止」が正式に決定されてから、2年目の就職・採用活動となりました。しかし、今年度も、2021年3月に、就職問題懇談会より、各大学・高等専門学校に対して、現行の日程（広報活動開始3月・採用選考活動開始6月）と枠組みを維持するように、「2021年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）」の周知が行われ、政府からも、経済団体・業界団体に対して「2021年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について」が周知されました。この枠組みが守られるならば何も問題がないのですが、現実には取り決め日程以前に、企業から関係者へ種々の接触があるのが実態です。そのため、基本的には、従来の就職業務日程を維持しつつも、学生の就職が不利にならないように、今年度は就職関連資料の学生へ開示を一月早めるなどの対応を施しました。一方で、covid-19のパンデミックは、昨年にも増して就職活動に大きな影響を及ぼしました。対面でのOB訪問は禁止され、私自身も企業の方との連絡をほぼすべてオンラインで行うとともに、分野内の就職説明会でもオンライン面談の注意点を学生へ喚起しました。学生もオンライン面談に慣れてきたせいか、幸い、オンライン面談に伴う目立ったトラブルはありませんでした。就活に伴う遠征が不要になり、経済的な負担が減ったことは、オンライン面談の利点かもしれません。また、11月にトヨタ自動車が「22卒新技術系採用 自由応募化」を全国の大学に通達したことは驚きでした。これには、一部の学生は敏感に反応し、私も他の企業がこれに追随するか気にしていましたが、少なくとも今年度の求人にはそれ程大きな影響はなかったように思います。

表1~3に令和3年度の1月現在の就職・進学関連のデータを示します。表1に記載のように、令和3年度の修了生および卒業生は、博士前期課程2年生57名、学域4年生79名の予定です。学域4年生の約80%は大学院に進学予定であり、学域生および大学院生で就職予定の学生は計57名です。今年度はこの約60名の就職希望の学生に対して、covid-19の影響で例年より減少しましたが、約360社の企業からの求人がありました（2人以上の求人の企業もありますので、延べ求人数はさらに多いです）。

採用形態に関しては、学校推薦により内定が決定した割合が、就職希望者の約61%でした。しかし、学校推薦でも不合格は当たり前、また、企業によっては、自由応募と学校推薦を併用し、自由応募と学校推薦の垣根が曖昧な場合もあるので、今後も、学校推薦の制度が機能するのかが疑問です。一部の企業では、ジョブマッチングをはじめとする、様々な選抜方法を取り入れ、学校推薦を誓約書のように扱っている場合もあるようです。そのため、企業の方との面談では、必ずジョ

ブマッチングについて尋ねました。ジョブマッチングの捉え方は各社様々でしたが、まず応募者の第一希望の部署の関係者が書類選考または面談し、応募者の専門や希望が合わなければ別の部署で選考という具合に、順に部署ごとに選考していくのが一般的かと思います。この種の選考において、各部署が適切な情報開示を行って応募者と接しているのかが、少々疑問です。ジョブマッチングというからには、一方的に、企業が選考するのではなく、入社後に応募者がどのように成長していけるのかなど、応募者が納得いく情報を企業側も提供した上で、選考する必要があると考えます。

インターンシップについては、年々参加者が増え、全国的には2021年度卒の学生の約70%がインターンシップに参加しているようです（就職白書2021）。学生にとって、インターンシップで企業を知ることは悪いことではないと思いますが、企業側の4割はインターンシップを採用目的としていること（就職白書2021）を知るべきです。いたずらにインターンシップに参加し、大学での勉強をおろそかにするのは、本末転倒です。

学校推薦の場合、正式な推薦状の発行は6月となりますが、それ以前に、本人が推薦対象者である通知や紹介状などを要求する企業も多数あり、4月中には実質的な選考が終了しているのが昨今の状況です。6月には、求人を終了している企業もあるなど、就職問題懇談会や政府の要請には実行力がありません。就活に出遅れると、希望の企業には入れないので、結局、早期の就活が行われ、学業との両立が厳しくなっていきます。大学での就職業務は、大学と企業との互いの信頼関係の上に成り立つものです。選考方法やインターンシップの在り方など、あらためて両者の相互理解の必要性を感じる次第です。

最後に、私が9年前の2012年度の就職担当をした際に会誌に掲載された記事を引用します。

「大学は教育研究機関であり、就職予備校ではありません。就活に追われ、十分に研究を行わない学生を世に出すことは、大学も本意ではありませんし、企業もそのような学生が欲しいわけではないと思います。大学の秋入学が議論される昨今、私個人は、新卒者の就職に関しても、4月に一斉採用ではなく、随時採用を検討する時期が来ていると感じています。」

残念ながら、今年度担当した後も全く同じ感想を持ちました。約10年たっても日本の就活の本質はほとんど変わっていません。企業においては終身雇用が崩壊し、早期退職者が増える中、個人の能力に応じて、いつでも自由に働ける風土が必要と強く感じています。

末筆ながら、就職業務にご協力いただきました機械事務室の小池美穂様をはじめとする関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

表1.2021年度卒業予定者・修了予定者の進路とりまとめ(2022年1月現在)

●学域学生

	在籍者	卒業 予定者	就 職			進 学			その他	未 定
			企業	公務員・教員	計	本学	他大学	計		
機械工学課程	79	78	4	0	4	59	4	63	3	9

●大学院学生(博士前期課程)

	在籍者	修了 予定者	就 職			進学	研究生	その他	未 定
			企業	公務員・教員	計				
機械工学分野	57	57	53	0	53	1	0	0	3

表2.2021年度卒業予定者・修了予定者(2022年1月現在)

I. 卒業予定者(機械工学課程)

青木 亮磨	青地 駿太	鯨坂 知紘	池田 和輝	池田 直哉	石田 隼也	江良 真稔	大澤 侑真
大塚 直弥	大西 柊惟	大原 弘睦	岡部 公汰	温 雨佳	加賀谷神奈	片岡 浩輔	金光 宏武
神野 翼	川上 航平	木村 和幹	久貝 悠介	小谷 悠人	小丸隆之介	佐藤 瞭	清水 裕貴
清家 浩介	瀬戸口 悠	武田 滉平	田中 大雅	田中 亮佑	谷口 佳	塚本 瑞樹	津戸 征一
経遠 里菜	遠山 健悟	富田 晃司	鳥居 正太郎	中川 大暉	中田 侑斗	西川 裕人	西嶋 大輝
林田 佳恭	原畑 政宏	PARK SUNGJUN	平井 哲史	平井 智大	平田 大智	藤田 侑己	堀川 陽生
馬 瑞辰	増井 健斗	松岡 浅葱	松倉 知哉	松本 和真	道下 泰成	宮本 浩希	村澤 央悦
森岡 幸司	八木 悠斗	八木 亮太	山内 秀紀	山際 久登	山口 和輝	山口 貴大	山畑 智紀
横山 欣八	吉村 光輝	吉村 駿哉	六波羅一将	足立 悠喜	金沢 峻介	熊谷 直也	ZHANG MING
山口 大輝	WANG CHONG	辻川 貴也	山垣 佑	李 宏民	村田 雅典		

II. 博士前期課程修了予定者(機械系専攻機械工学分野)

石田 将真	出井 亮也	伊東 凌	井上 貴弘	江口 諒	王 静嫻	岡崎 真梨	岡田 真吾
岡田 佳久	香河 悠也	陰山 拓実	梶原 隼人	兼重 岳史	河合 晃汰	川崎 宏樹	木原 裕貴
隈川 颯	黒崎 滋	奚 訓	古結 慶幸	後藤 一輝	坂本 真誓	桜井 航	佐藤 貴一
澤田慎太郎	設楽 朗大	杉本 春紀	鈴木 三平	鈴木 裕人	瀬川 紘生	高瀬 夢人	高田 倫
高橋 光生	田中 綸	田村 知也	津賀 允徳	中出 崇彦	永井 賢人	長野 周平	長濱 瑠星
西岡 涼介	西森 皓平	八田 雅大	林 大輝	平形 亘	平松 祐人	福田 悠太	前田 康介
益山 琢夢	松本 拓治	宮崎 寛隆	森本 賢	山内 詠人	山中 春輝	山本 草太	吉田 圭佑
渡辺 匡							

III. 博士後期課程修了予定者(機械系専攻機械工学分野)

安藤 駿	2022/3/31博士(工学)の学位取得予定
岡崎 友紀	2022/3/31博士(工学)の学位取得予定
杉本 真	2022/3/31博士(工学)の学位取得予定

表3.2021年度卒業予定者・修了予定者進路(2022年1月現在)

●内定先

(株)IHI	旭化成(株)	(株)イトーキ	(株)内田洋行	(株)エイバンサット	(株)NTTデータ
オリンパス(株)	川崎重工業(株)	(株)キトー	京セラ(株)	京セラコミュニケーション(株)	(株)きんでん
(株)クボタ	(株)神戸製鋼所	CKD(株)	(株)島津製作所	(株)シマノ	シャープ(株)
住友重機械工業(株)	住友電気工業(株)	積水化学工業(株)	(株)ソニックス	ダイキン工業(株)	ダイハツ工業(株)
(株)ダイヘン	TMTマシナリー(株)	デクセリアルズ(株)	デザートジャパン(株)	(株)デンソー	ナブテスコ(株)
日本電気(株)	日本ビラー工業(株)	パナソニック(株)	阪急阪神ホールディングス(株)	(株)日立製作所	日立造船(株)
本田技研工業(株)	マツダ(株)	三菱重工業(株)	三菱電機(株)	(株)明電舎	(株)リクルート

●進学先

本学大学院	京都大学大学院	航空大学校
-------	---------	-------

成績優秀者表彰

令和3年3月24日(水)に令和2年度学位記授与式が行われました。今回は新型コロナウイルス感染防止対策として、全体の授与式は代表者等のみがUホールに集合する形式で実施されました。機械工学課程・分野のほとんどの卒業・修了生は、例年通り各研究グループ内で学位記を授与されました。また、正午より令和2年度の学域・大学院成績優秀者の表彰および副賞の記念品贈呈が小笠原紀行准教授の司会により執り行われました。機械工

学科同窓会からは、大学院学業優秀賞受賞者3名、自動車技術会大学院研究奨励賞受賞者1名、日本マリンエンジニアリング学会林俊一賞受賞者1名に副賞の記念品を贈呈しました。一方、例年開催される機械工学科同窓会新入会員歓迎パーティーは、感染防止対策のため昨年に続いて実施を中止しました。次回にはウイルス感染状況が終息し、通常通りパーティーが実施出来ることを期待します。

受賞者は以下のとおりであり、受賞された諸君の日頃の精進と努力をたたえる。

- 日本機械学会三浦賞(大学院)
機械工学分野:名倉 梨花 さん、山内 克哉 君
- 大学院学業優秀賞(大学院)(副賞:機械工学科同窓会)
機械工学分野:和田 賢伍 君、藤田 龍平 君、水口 雄太 君
- 自動車技術会大学院研究奨励賞(大学院)(副賞:機械工学科同窓会)
機械工学分野:和田 賢伍 君
- 日本マリンエンジニアリング学会林俊一賞(大学院)(副賞:機械工学科同窓会)
機械工学分野:名倉 梨花 さん
- 白鷺賞(学域)
機械工学課程:森本 真尋 さん
- 日本機械学会畠山賞(学域)
機械工学課程:島田 拓弥 君

(専務理事 石原 正行)



高額寄付の報告



2021年6月に森明信様(工機S29)より、大阪府立大学つばさ基金に500万円の高額寄付を頂戴しました。このうち400万円をステンレス材料の研究補助、100万円を機械工学科同窓会の活動に充てることを指定されています。

森様は、1954年3月に浪速大学工学部機械工学科を卒業された後、ステンレス管の製造で著名なモリ工業株式会社に勤務、1965年から2000年まで2代目社長として活躍された後、会長を経て現在は相談役として務められています。このたび、ご本人の卒寿の記念として、上記の高額寄付を頂きました。頂戴した寄付金は学生支援のために使わせて頂きます。また、本会報の場をかりて機械工学科同窓会として厚く御礼申し上げます。

各期理事の選出についてのお願い(重要)

機械工学科同窓会では、会員各位の卒業期ごとに1名の理事を選出していただき、この理事によって組織される理事会で同窓会の運営を行っております。しかしながら、年月を経ることによって、理事を欠いたままの期が多数あり、現在、専務理事がその期の代理を務めています。本会報12ページの2021年度役員名簿の氏名欄に「専務理事に委任」と記載されている期がこれに該当します。ご高齢により理事を担当することが難しいために専務理事に委任されている期もありますが、多くは理事の移転による連絡先不明、または理事退任のあと後任が選出されないままの状態によるものです。

期の理事を欠いたままでは、理事会等で会員皆様の意見を正しく反映させることが困難です。そこで、理事が不在の期の会員各位におかれましては、できるだけ新たな理事を選出の上、同窓会事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。



事務局日誌

年月日	事項
令和3年 7月4日	機械工学科同窓会理事会
令和3年 6月19日	大阪府立大学校友会理事会・評議員会
令和3年11月14日	機械工学科同窓会臨時理事会
令和3年11月29日	大阪府立大学校友会理事会
令和3年12月11日	大阪府立大学校友会評議員会
令和4年 1月17日	大阪府立大学校友会理事会
令和4年 3月 5日	大阪府立大学校友会評議員会
令和4年 3月24日	会報42号を発行



叙勲・受賞ニュース

受賞

◆杉本春紀

2021年4月

日本機械学会若手優秀講演フェロー賞

◆田村知也

2021年8月

日本混相流学会混相流シンポジウム2021
ベストプレゼンテーションアワード

◆増田亘作

2021年12月

第38回井上研究奨励賞

◆長村篤

2021年5月

日本風力エネルギー学会優秀発表賞

2021年11月

日本機械学会動力エネルギーシステム
部門優秀講演表彰

◇ 2021年物故者リスト ◇

※カッコ内は旧姓・旧名

大機S17	山下 忠雄	2018-09-08	大舶S22	大野 早苗	2021-03-08
大機S19	土屋 正博	2020-03-23	淀機S25	岸田 豊	2020-03-12
大機S20	金光 馨	0000-00-00	機機S23	山本 義次	2022-01-30
大機S20	長谷川卓也	2021-07-21	機機S24	弁野 裕	0000-00-00
大機S23	松岡 武	0000-00-00	機機S25	池永 努	2018-10-20
大機S24	木村 啓止	2019-09-25	機原S22	大西 弘修	2021-01-17
大機S24	藤谷 昭男	0000-00-00	機原S25	大野 虎夫	2012-00-00
大機S26	山内 彰	2020-05-20	機精S25	前田 龍秀	2019-12-17
大精S18	藤原 啓	2021-01-03	工機S28	水内 和信	2021-01-20
大精S19	田中 明夫	2021-03-09	工機S29	岩室 裕	2015-09-23
大精S19	東田 金吾	2020-06-18	工機S31	坂本 義治	2020-11-14
大精S20	志茂 寛	2016-00-00	工機S31	四方 素行	2019-08-00
大精S22	藤並 行三(熊谷)	2021-03-00	工機S32	今井 稔	2019-00-00
大精S23	矢野 俊夫(金田)	2020-09-02	工機S32	出来 秀雄	2020-06-28
大原S18	安井 義和	2018-11-30	工機S32	藪本丈三郎	2018-10-22
大原S20	西村 壽光	2021-01-18	工機S38	杉本 正勝	2021-06-21
大原S22	堀内 嘉一	2019-02-10	工機S52	前田 徹	2019-12-03
大原S22	松本三樹夫	2020-10-04	修機S44	間瀬 正隆	2021-05-04
大原S25	松岡 学	2021-05-16			

2020年度 決算報告書 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

■収入の部			単位:円	■支出の部			単位:円
1.前年度繰越金		20,763,691		1.会費		25,046	
2.会費収入		618,000		年会費二重払い		0	
年会費 小計	174件	348,000		終年会費二重払い		0	
今年度	113件	226,000		振込手数料		23,396	
新入会員	55件	110,000		その他(会費返金含む)		1,650	
その他年度	6件	12,000		2.運営費		379,883	
終年会費 小計	9件	270,000		人件費		1,000	
一般	9件	270,000		旅費・交通費		0	
新入会員	0件	0		通信費		840	
会費超過分など	0件	0		印刷・事務用品費		195	
3.会報収入	0件	0		会議費		0	
広告料	0件	0		Web名簿製作・運営費、業務委託費		377,848	
雑収入	0件	0		3.会報発行費		934,011	
4.参加費収入	0件	0		編集印刷費		621,907	
理事会懇親会	0件	0		発送費		311,664	
その他	0件	0		雑費		440	
5.利息収入		1,697		4.事業費		117,773	
定期預金		1,694		理事会・懇親会諸費		0	
普通預金		3		新入会員歓迎会諸費(記念品)		117,773	
6.雑収入	3件	128,000		理事交通費		0	
その他	0件	0		特別事業費		0	
校友会同窓会活動支援金	1件	19,000		その他(ロボコン支援)		0	
寄付(振込)通知No11	1件	5,000		その他(情報交流サロン会議演料)		0	
寄付(振込)通知No23	1件	4,000		その他(海外渡航費補助)		0	
寄付(振込)通知No35	1件	100,000		5.雑支出		0	
				慶弔費		0	
				その他		0	
				6.次年度繰越金		20,054,675	
収入項目2～6の合計		747,697		支出項目1～5の合計		1,456,713	
収入の部総計		21,511,388		支出の部総計		21,511,388	

資 産 目 録 (2021年3月31日現在)

項 目	本年度	前年度
近畿大阪銀行普通	¥421	¥169,421
三井住友銀行普通	¥1,141	¥74,294
三菱UFJ銀行普通	¥8,563	¥7,716
郵便局	¥37,325	¥452,911
振込口座(会費)	0	10,036
振込口座(会報)	0	0
近畿大阪銀行定期	0	0
三井住友銀行定期	¥10,000,000	¥10,000,000
三菱UFJ銀行定期	¥10,000,000	¥10,000,000
現 金	¥7,225	¥49,313
合 計	¥20,054,675	¥20,763,691

2020年度 会計監査報告

会計帳簿、証憑書類ならびに通帳を監査した結果、適正に執行されていたことを認めます。

2021年6月15日

会計監査 西川 嘉康 蒲生 恵司

機械工学科同窓会 2021年度役員名簿

期 - 卒業年	役職	氏名	期 - 卒業年	役職	氏名	期 - 卒業年	役職	氏名
大機1-S16		※委任	機機4-S25		※委任	工機34-S61		吉田 浩治
大機2-S17		※委任	機機5-S26		矢木原邦雄	工機35-S62		田頭浩一郎
大機3-S18		※委任	機原1-S22		※委任	工機36-S63		山本 敏之
大機4-S19		※委任	機原2-S23		※委任	工機37-H1		河村 隆介
大機Ⅱ4-S20		※委任	機原3-S24		※委任	工機38-H2		木村 哲也
大機5-S20		※委任	機原4-S25		※委任	工機38-H2		吉満 信彦
大機Ⅱ5-S21		※委任	機原5-S26		※委任	工機39-H3	監事	蒲生 恵司
大機6-S22		※委任	機精4-S25		※委任	工機40-H4		佐藤亜理州
大機Ⅱ6-S22		※委任	機精5-S26		香川 恭介	工機41-H5		小林 靖弘
大機7-S23		細野 正守	工機1-S28		有田 幹雄	工機42-H6	専務	石原 正行
大機Ⅱ7-S23		粕井 寛	工機2-S29	名誉会長	青木 正昭	工機42-H6		谷口 富洋
大機8-S24		※委任	工機3-S30		大野 茂夫	工機43-H7		松井 和昭
大機9-S25		我谷 康之	工機4-S31		※委任	工機44-H8		馬場 正信
大機10-S26		※委任	工機5-S32		※委任	工機45-H9	会計	水谷 彰夫
大精1-S16		※委任	工機6-S33		※委任	工機45-H9		田中 清広
大精2-S17		※委任	工機7-S34	名誉会長	橘 覚雄	工機46-H10	庶務名簿	黒木 智之
大精3-S18		※委任	工機8-S35	会計	太田 廣	工機46-H10		中村 泰浩
大精4-S19		※委任	工機9-S36		谷川十三夫	工機47-H11		藤田 久土
大精5-S20		※委任	工機10-S37		豊田 正喜	工機48-H12		森数 洋司
大精6-S22		※委任	工機11-S38	名誉会長	明石 博	工機49-H13		西海 博行
大精7-S23		※委任	工機12-S39	名誉会長	藤田 勝久	工機50-H14		船越 裕二
大精8-S24		※委任	工機12-S39	常務	北出 篤夫	工機51-H15		牧野 允人
大精9-S25		※委任	工機13-S40	常務	赤井 富一	工機52-H16		藤枝 英樹
大精10-S26		※委任	工機13-S40	会長	吉永 洋一	工機53-H17		内田 陽介
大原1-S16		※委任	工機14-S41		東野 耿二	工機54-H18		田村 雄一
大原2-S17		※委任	工機15-S42		井上 久弘	工機55-H19		佐野 浩司
大原3-S18		※委任	工機16-S43		石川 皓一	工機56-H20		松村 玲
大原4-S19		※委任	工機17-S44		中馬 義孝	工機57-H21		黒田 裕之
大原5-S20		※委任	工機18-S45		坂田 克郎	工機58-H22		野田 友彬
大原6-S22		※委任	工機18-S45	名誉会長	西川 嘉康	工機59-H23		荒金 恵美
大原7-S23		※委任	工機19-S46		杉元 民夫	工機60-H24	庶務会報	桑田 祐丞
大原8-S24		高木 規雄	工機19-S46	副会長	水谷 茂	工機60-H24		中村 大輔
大原9-S25		※委任	工機20-S47	常務	政友 公平	工機61-H25		吉田 昂太
大原10-S26		柴沼 元	工機21-S48		脇谷 俊一	工機62-H26		光永 聖
大舶6-S22		※委任	工機22-S49		伊藤誠太良	工機63-H27		小田宗治郎
大舶7-S23		※委任	工機23-S50		綾野 良孝	工機64-H28		津山 拓也
大舶8-S24		※委任	工機24-S51		長田 信隆	工機65-H29		平野晋太郎
大舶9-S25		田中 整	工機25-S52		大多尾義弘	工機66-H30		未定
淀機1-S22		安藤 久	工機26-S53		河下 一成	工機67-H31		未定
淀機2-S23		※委任	工機27-S54		石田 純一	工機68-R2		未定
淀機3-S24		玉尾 匡	工機28-S55	常務	武田 郁夫	工機69-R3		未定
淀機4-S25		※委任	工機29-S56		上野 登	大学院-S34		※委任
淀機5-S26		※委任	工機30-S57	専務	菊田 久雄	大学院-S44		嶋橋 安廣
機機1-S22	常務	村山 乾一	工機31-S58		上田 隆美	大学院-S56		石田 良平
機機2-S23		※委任	工機32-S59		石川 猶也			
機機3-S24		※委任	工機33-S60		有蘭 祥一			

機械工学科同窓会 会則

第一章 総 則

(名称)

第1条 本会は「大阪府立大学工学部機械工学科同窓会」と称する。

(目的) 本会は会員相互の親睦をはかり工業技術の発展に寄与することを目的とする。

(事業) 本会はその目的達成のため次の事業を行う。

第3条

- (1) 総会の開催。
- (2) 会員名簿および会報の発行。
- (3) 科学・技術とその情報の交換。
- (4) その他必要と認める事項。

(事務局)

第4条 本会は事務局を大阪府立大学工学部機械工学科内に置く。また理事会の承認を得て支部を置くことができる。

第二章 会 員

(会員の種類)

第5条 本会は下記の会員をもって組織する。

(1) 母体校友会

◎官立大阪高等工業学校および官立大阪工業専門学校
機械科、精密機械科、原動機科、船用機関科 卒業生。

◎旧大阪府立淀川工業専門学校
機械科 卒業生。

◎旧大阪府立機械工業専門学校
機械科、原動機科、精密機械科 卒業生。

(2) 浪大会員

◎浪速大学工学部
機械工学科 卒業生および大学院修了者。

(3) 府大会員

◎大阪府立大学工学部
機械工学科 卒業生および大学院修了者。

(4) 教職員会員

◎上記卒業生および修了者が所属する学科の現教職員および旧教職員。

第三章 役 員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長(1名)、副会長(若干名)、専務理事(2名)、庶務理事(若干名)、会計理事(若干名)、常務理事(若干名)、監事(若干名)。
- (2) 理事 原則として各科、各期1名 大学院修了者若干名。
- (3) 上記の外に学内理事(若干名)を置くことができる。

(役員を選出)

第7条 役員は以下の方法により選出する。

- (1) 理事は各科各期の推薦による。
- (2) 学内理事は大阪府立大学在職会員から上記理事の推薦による。
- (3) 会長、副会長、専務理事、庶務理事、会計理事、常務理事は理事の互選による。
- (4) 監事は理事会で推薦し、総会の承認を得なければならない。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は次の通りとする。

- (1) 会長は会務を統理し、この会を代表する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時は会長の職務を代行する。
- (3) 専務理事は会務処理を掌る。
- (4) 庶務理事は専務理事を補佐し、名簿の整理、会報の発行等の諸事務処理を掌る。

(5) 会計理事は会計事務を掌る。

(6) 常務理事は会務を処理する。

(7) 理事は会務の企画立案をする。

(8) 監事は会計事務の監査を行い理事会および総会に報告する。

(役員任期)

第9条 本会の役員任期は2年とする。ただし改選期外の就任理事は次期改選期までとする。

第四章 特別会員

(特別会員)

第10条 本会に特別会員として名誉会長・相談役・顧問を置く。

(特別会員の推薦)

第11条 特別会員は以下の方法により選出する。

(1) 名誉会長には会長経験者、相談役には副会長経験者および専務理事経験者を推され、理事会の議を経て総会に報告する。

(2) 顧問は会員中より推され、理事会の議を経て総会に報告する。

第五章 集 会

(定時総会)

第12条 定時総会は2年に1回行う。

(臨時総会)

第13条 臨時総会は理事会の決議により、または全会員の5分の1以上の請求があったとき会長が招集する。

(総会の決議)

第14条 総会の決議は出席者の過半数により成立する。

(理事会)

第15条 理事会は会務の遂行上必要と認めるとき、会長が随時招集する。

(理事会の決議)

第16条 理事会は理事全員の4分の1以上により成立し、決議は出席者の過半数により成立する。

第六章 会 計

(経費)

第17条 本会の経費は、年会費、終身会費、寄付金およびその他の収入をもってあてる。

(会費)

第18条 会費の種類は年会費と終身会費とし、それぞれの額は必要に応じて理事会の議を経て別に定める。既納の会費は還付しない。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度を4月1日より翌年3月末日までとし、毎年度毎に会計監査を受け、会計報告および監査報告を次年度中に、何らかの方法で全会員に公表しなければならない。

第七章 付 則

(会則の改正)

第20条 この会則は総会において出席人員の3分の2以上の同意を得て改正することができる。

(会則の発効)

第21条 この会則は、平成4年5月30日をもって効力を生じる。

細 則

(会費)

- (1) 会費は下記に定める金額とする(昭和57年7月17日理事会)
年会費 2,000円
終身会費 30,000円
- (2) 会費は教職員会員からは徴収しない。

会員限定 マイページについて

●最新の会員名簿が閲覧できます。(公開している方のみ)

●住所登録情報の確認や更新ができます。

会員様からお預かりしている個人情報を、よりセキュリティの高い環境に一元管理しております。

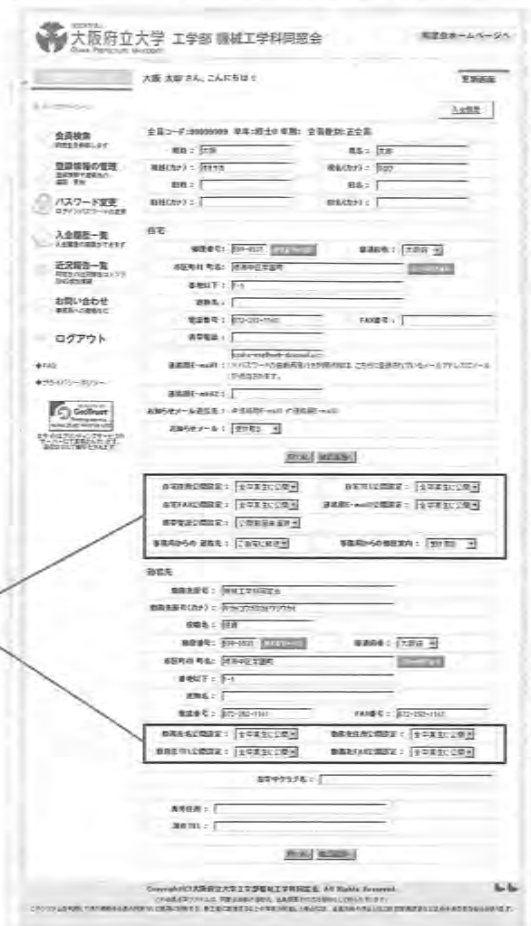
マイページへのログイン

- 宛名用紙にIDおよびパスワードが記載されています。
- IDとパスワード管理は充分にご注意ください。
- IDパスワードが分からない場合または紛失された場合は、下記のお問合せ先まで御連絡ください。



個人情報変更ページ

- ご住所変更の際は、こちらから変更をお願いします。



自宅住所や電話番号、勤務先の情報の公開範囲を指定してください。

会員の皆様へお願い

新しいホームページをより一層活性化するために、より多くの情報を迅速にお伝えし、会員の皆様に幅広く利用していただけるようにしていきたいと考えております。

クラス会の開催告知から報告や、さまざまな活動報告の場にしていきたいと考えております。そのためには、幅広く情報提供をお願いいたします。(内容により掲載できない場合はご容赦ください。)

その他の機能 ●IDパスワードの変更 ●入金状況の確認 ●近況報告機能

お問い合わせ先

大阪府立大学 工学部 機械工学科同窓会ホームページ 管理・運営サポート

E-mail:osaka-eng@web-dousoukai.com

有限会社プリンティングサービス

538-0043 大阪市鶴見区今津南2-7-6 TEL.06-6969-8111 FAX.06-6969-8112

http://www.printing-s.jp/ 営業時間:9:00~17:45(月~土)

会報43号(次号)について

本会の会報は年1回のペースで42年間にわたって発行を続けてきましたが、本42号は大阪府立大学機械工学科同窓会として単独発行する最終号になります。次号(43号)より新機械工学科同窓会との共同発行になります。長らくB5・白黒印刷版としてご愛読いただきましたが、次号からはA4・カラー印刷の読みやすい版に刷新します。今後、新大学の状況なども積極的に掲載する予定です。

クラス会短信も従来通り掲載してまいります。コロナ禍でクラス会を開催することが難しい状況ですが、開催された場合は短信をお寄せください。記事の原稿や写真は、現同窓会・新同窓会のいずれのホームページよりも投稿可能です。





発行所

大阪府立大学工学部 機械工学科同窓会

印刷所

(有)プリンティングサービス

■ 機械工学科同窓会事務局からの依頼事項

会員の異動等に関する同窓会事務局への連絡については、下記までお問合せください。

大阪府立大学 工学部 機械工学科同窓会運営サポート E-mail : osaka-eng@web-dousoukai.com

有限会社プリンティングサービス

〒538-0043 大阪市鶴見区今津南 2-7-6 TEL.06-6969-8111 FAX.06-6969-8112 <http://www.printing-s.jp/>

営業時間 / 9 : 00 ~ 17 : 45 (月~土)